



土器川の木々もそろそろ色付き始め、鮮やかな紅葉が待ち遠しいこのごろ、リバーキーパーズの皆様方におきましてはますますご健勝のことと存じます。食欲の秋です。今年は松茸が豊作であったりと、食欲をかきたてられる話題が多い時期ですが、食べ過ぎには注意して、適度な運動にも心掛けましょう。

今回は、「土器川河道の変遷」と「河川整備計画」についてお知らせします。

土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしご意見をお寄せください。

キーワード: 土器川河道の変遷



○概要

土器川は河川延長が短く急流な河川で、炭所西常包付近から河口にかけて沖積扇状地となっています。洪水の度、活発な土砂流出により河床が上昇し、度々はん濫する暴れ川のために、古来より河道の変遷が激しいと伝えられています。

当初、西方にある基盤岩の低い部分へ向かって流れていたものが、流出堆積による隆起とともに、低地部を求めて流出先を変更して行き、徐々にその河道方向を東へ段階的に移動させていきました。

一番東を流れていたと思われるルート④(滝ノ鼻～大東川)の後に、現在の位置へと流れを変えました。
わみょうるいじゆしょう わみょうしょう
「和名類聚抄(和名抄)」(931～938年)の記録による地名から推定すると、約1,000年ほど前と思われます。

土器川の河道変遷表

①	当初	木の崎～吉野(南より)～水戸(スイド)～五条～櫛梨～下吉田～庄
②	2回目	木の崎～吉野～水戸(スイド)～五条～櫛梨～郡家～杵原～高津
③	3回目	木の崎～吉野～吉野下～四条～郡家～杵原～高津
④	4-1回目	生稲～滝ノ鼻～真時～東坂元～大東川
④'	4-2回目	長尾～岡田上～大窪池～川原～大東川
⑤	5回目	現在の河道

出典:「土器川旧河道について」昭和52年9月
四国地方整備局 香川工事事務所
「丸亀図幅の地形区分」1974.10.30高桑紘
香川大学教育学部研究報告第1部37号



土器川の河道変遷図

①から⑤に向かって土器川は変遷してきているんだね!



キーワード: 河川整備計画



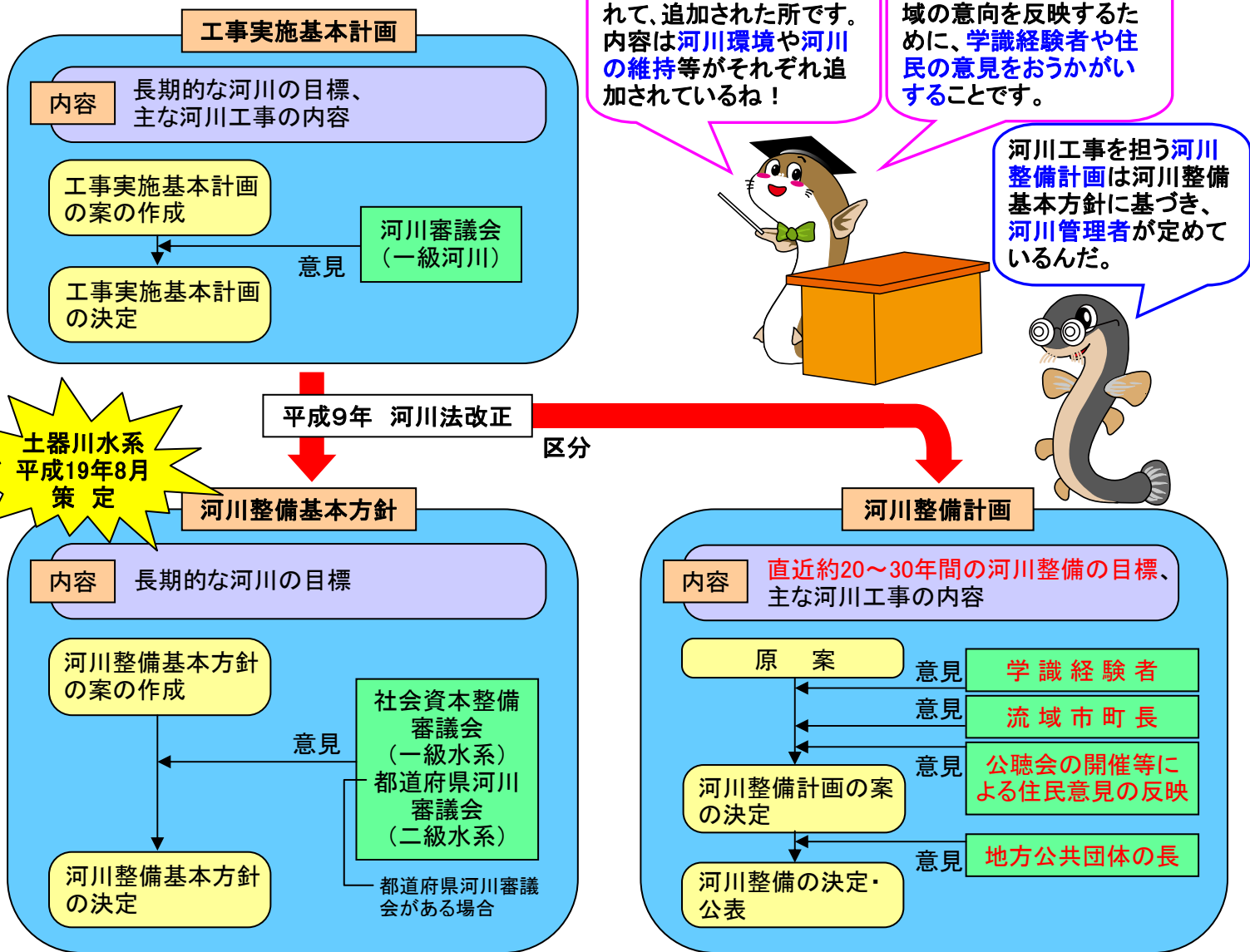
○概要

今年、土器川では土器地区で低水護岸などが施工されていますが、こういった工事はどのような流れで計画され、決定されているかを疑問に思ったことはないでしょうか？今回は現在の河川計画である「**河川整備計画**」について解説していきます。

○河川法改正 ～より民意を反映した計画へ～

平成9年の河川法改正以前は、河川管理者は水系毎に「**工事实施基本計画**」を策定しておくこととされてきました。これについては河川審議会の意見を聞いて、河川管理者によって策定されていましたが、**国民のニーズに的確に答え、河川及び地域の特性に応じた河川整備を推進するためには、地域との連携が不可欠**であることから、この制度を見直し、新たな計画制度を創設しました。

平成9年の河川法改正で、「**工事实施基本計画**」を「**河川整備基本方針**」と「**河川整備計画**」に区分し、後者については、**地域の意向を反映する**手続きを導入することとしました。その内容と流れは以下の図に示しました。



土器川リバーキーパーズに関するお問合せは



国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32
TEL: 087-821-1623(計画課直通) FAX: 087-821-1713

